



発行/社会福祉法人白根学園 発行責任者/三木 健太
住所/横浜市旭区白根7-10-6 Tel.045-951-2669 Fax.045-951-7773



◀ホームページはこちら
<http://www.shirane.or.jp>

「白根学園創立60周年 おめでとうございます」

理事長 三木 健太

桜咲く、爽やかな春の日に新入職員18名を迎え、令和2年度はスタートしました。改めまして、新しく白根学園に入職した皆さん、おめでとうございます。そしてよろしく願いいたします。すべての学園関係者の皆さんと開設60年という節目の年を迎え、盛大にお祝いしたいと思っておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大で60周年記念式典が予定通りにできなくなりました。今は、このやや手ごわい相手をどう制御し、どのように共存できるか、日々手探りの状態です。これまでに経験のないようないくつもの試練を課され、戸惑いの連続だと思います。「密閉、密集、密接を避けよ」とか、「人との接触を8割減らせ」などといわれても、社会福祉とくに障害者支援の活動では、現実的ではありません。わたしは学園の職員ももちろんですが、利用者さんのご家族や保護者の皆さんにとっても今までにないような、ご心配を感じていらっしゃるのではないかと案じています。

わたしたちは既にインフルエンザやノロウイルスなどの数々の感染症に対応してきました。今回のウイルスに対してもいままでの経験を活かし、さらに最新の正しい情報を皆で共有し、「できるだけ感染しない、させない、それでも感染してしまった時には拡大しない」という対策をしていきます。このウイルスには打ち勝つのではなく、共存することが求められています。制限された社会生活のなかでも、できる限りいままで通りの支援の在り方を皆で探りながら、柔軟に賢くこの時代を乗り越えましょう。

ところで、白根学園の基本理念は「知識より、信仰より、愛を以て第一となす。」ですが、皆さんは、この「愛」をどのように

理解されていますか。ひとりひとり少しずつ意見が違うかもしれませんが、今年の桜を見ながらわたしが感じた「愛」について紹介します。辞令交付式のあった4月1日の時点で、満開は少し過ぎていたようですが、まだまだ桜が綺麗に咲いていました。わたし自身は新型コロナウイルス感染拡大の影響で落ち込んでやや暗い気持ちだったせいか、今年の桜は例年になく美しく感じられ、日本の春がまた好きになりました。ただし、この「好き」という気持ちは実はわたしの都合で「好きだ」と言っているだけということにも気づきました。つまり、桜は毎年、春になれば綺麗に咲いているのです。こちらの気持ちの変化で、その時だけ特別に「好きだ」などと言っている自分が恥ずかしくなりました。わたしは学園が提唱する「愛」とは自分たちの都合でその中身が変わるものではないと思っています。もちろん一時的なものでもありません。この「愛」という言葉のもつ意味について、その本質について今一度、皆さんも考えてみてください。

日本あるいは世界の各地で医療従事者への感謝と応援の気持ちを表すいろいろな活動が行われています。わたしは毎日、現場で利用者さんの支援をしている学園の職員には誰よりも大きな拍手を送っています。近い将来「コロナを経験しました、障害者施設における感染症対策は任せてください。」と言ってくれる仲間がたくさん増えることを願っています。最後に紙面ではありますが、大きな声で心から皆さんにお伝えしたいです。「白根学園創立60周年おめでとうございます 共に歩んだ60年 そして、これからも」

もくじ

| | |
|--------------------------------|-----|
| ❁ 理事長の挨拶「白根学園創立60周年おめでとうございます」 | ① |
| ❁ 学園長からの祝辞「白根学園60年の思い出」 | ② ③ |

| | |
|----------------------------|-----|
| ❁ 新任・中途採用職員紹介 | ④ ⑤ |
| ❁ 学園長からの報告「新型コロナウイルスに負けるな」 | ⑥ ⑦ |
| ❁ 白根学園事業報告書2019年度・編集後記 | ⑧ |